

心強い部活サポーター

杏林堂 けが予防や栄養指導

県内でドラッグストアを展開する「杏林堂薬局」が、浜松市内の中学校のスポーツの部活動をサポートする取り組みを今春から始める。薬局の特長を生かした専門的な指導で、子どもたちのけがの防止や運動能力の向上を後押しする。
(安達健)

浜松の中学校で今春から



野球部の活動を支援していく杏林堂薬局引佐店の尾関裕輔店長（右から2人目）ら。浜松市北区で

部活動の指導者の確保は難しく、けがに対する医学的知識や栄養学に基づかないまま指導しているケースも少なくないという。

こうした現状を受けて杏林堂薬局は今回、引佐南部中（北区）野球部、開成中（中区）女子バレー部、東部中（南区）サ

ッカー部の三校を支援する。鎮痛消炎剤や栄養補助食品のプロテインの試供品を提供したり、資格を持ったスタッフによるスポーツセミナーを開いたりする。

引佐南部中を担当する同薬局引佐店では、管理栄養士の尾関裕輔店長と渡辺理子さん、山本真波さんの三人が学校に出向き、栄養補助食品の効果的な利用の仕方や栄養バランスを考え、食事メニューの提案をする。尾関さんと山本さんは、医薬品登録販売者の資格もあり、医薬品の試供品を使い、けがの予防やテーピングのやり方を指導するセミナーも開く予定だ。

尾関さんは「正しい知識を身に付けるだけで、子どもは大きく成長する。少しでも力になれば」と話した。

部活動の支援は、同市の地域活性化団体「はままつ応援隊」に参加するプロパンガス販売のエネシン（中区）による企画。同団体には、地域のスポーツチームやスポーツ医療専門学校、広告会社など計十三の企業・団体が協賛しており、今後はそれぞれの特徴を生かした支援をしていく。